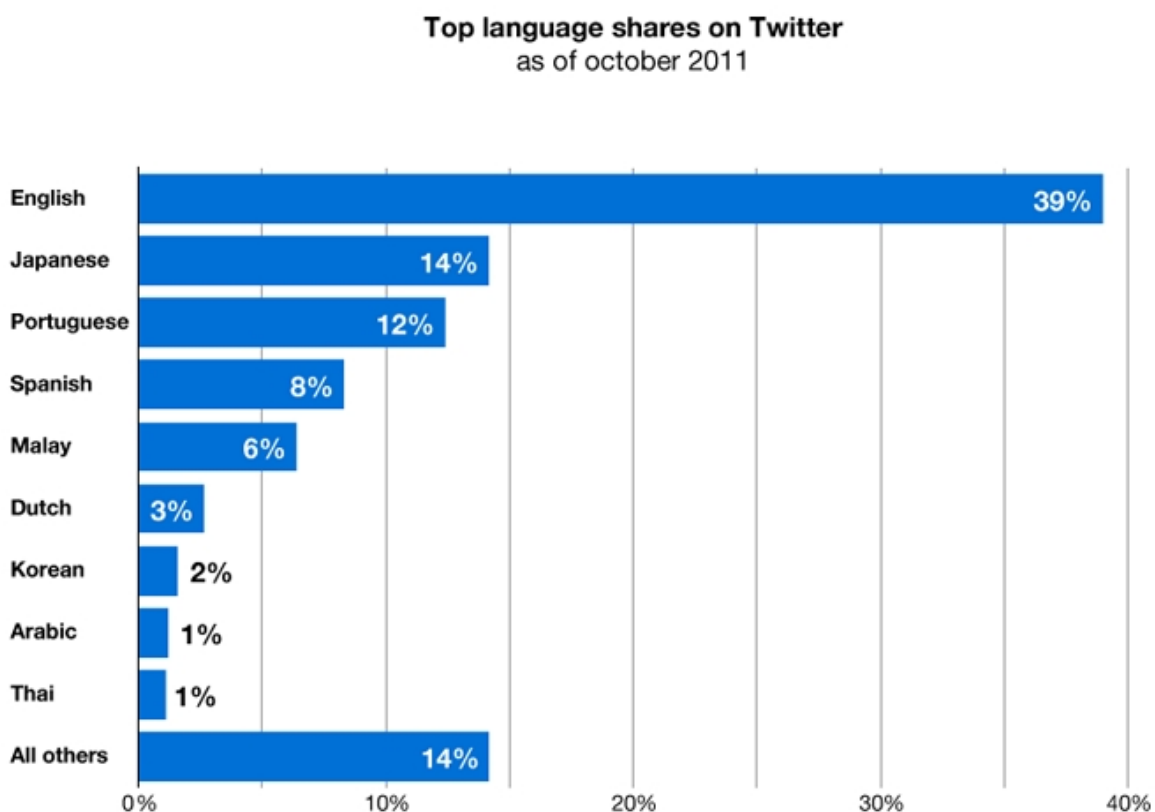


◆NEW

フランス調査会社Semiocastによると、ツイッターによる言語別ツイート数では、日本語が英語に次いで多いという。この記事は見出しで「The share of English messages stabilized, Japanese's decreased」と書き、以下のような内容を伝えている。

世界の総ツイートのうち英語の割合は、2011年10月で37%。これは、2010年2月の50%から減っている。それに比べて日本語は、2010年2月に14%だったが、2011年10月でも同じ14%を維持している。なお、この1年間で最も伸びた言語はアラビア語で、アラビア語ツイート数は、なんと22倍(+2146%)の220万ツイート/日に急増したという。

[Arabic highest growth on Twitter](#) __ [English expression stabilizes below 40%](#) (Semiocast)



Semiocast.com © 2011

